

社会保険倶楽部
ホームページの開設



◀「社会保険倶楽部」で検索
https://syahokurabu.org



第387号 年 2 回 発 行 1 月 号

社会保険倶楽部

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-2-8
五反田佑気ビル4階
(一財)社会保険協会内
TEL (03)5434-8761
FAX (03)5434-8762
E-mail aal95950@nyc.odn.ne.jp
編集・発行人 米 田 英 次

志賀高原スキー漫遊記



岡山支部 関 直之

私は昔からスポーツが好きで、野球、卓球、剣道、スキー、テニス、ゴルフなど目につくものは何でもかじつてきました。体を動かすことは好きでしたが上手になつたものは1つもありません。その中でもスキーは長く続いた方です。雄大な山々の雪景色を見ながらスロープを滑り降りる爽快さは何とも言えません。昭和45年に岡山県庁スキークラブ（略称OKSC、岡山県庁スケベクラブと呼ぶ者もあり）に入会し、OBとなつ

た今でも名誉会員として続いています。80歳を迎え体力的に限界を感じていますが、シーズン中に1回だけこそっと1人で出かけることもあります。今回は若い頃（昭和48年）にOKSCの仲間と志賀高原スキーに行つたことを岡山弁丸出しで紹介いたします。

今度天皇誕生日が日曜と重なつて月曜が休みになるんじゃないでえ。一丁春スキーでも行つちやるか。なんと志賀は4月いっぱい熊の湯と横手山がリフトを動かしたるそうなので

高島 基（準指導員）
Ⅱタカさん
（以下このように略す。他も同様）
岡崎時夫（1級）
Ⅱトキさん
井上喜信（2級）
Ⅱイノさん
横山天門（2級）
Ⅱヨコさん
上岡直己（2級）

あけましておめでとーございます。皆さまお揃いで輝かしい令和8年を迎えられたことと存じます。

年金制度改正が昨年6月13日成立しました。

ライフス
タイルの多様化等を踏まえ、老後生活の安定や所得保障の強化を図るため、社会保険の加入対象の拡大などの公的年金制度の見直しが行われました。また、衆議院での修正において、次期財政検証（2029



令和8年の新年を迎えて

社会保険倶楽部
世話人代表 幸 田 正 孝

水準を上昇させるための措置を講じることとなりました。昨年10月、自民党初の女性総裁が誕生し、少数与党の中、日本維新の会との連立に

さて、社会保険倶楽部については、ホームページや会報誌の「支部だより」に各支部の情報が多く掲載され、活発な支部行事の活動が紹介され

改めて、本年が皆様にとって健康で明るい良い年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

多くの倶楽部会員が委嘱されている地域型年金委員の活動にも参考にしていただきたいと思います。

Ⅱウエちゃん
関 直之（2級）
Ⅱワタクシ
共通特徴は顔がまぶしくて口悪し、ただし気の良い連中である。それによく尻をこく。前日仕事そつちのけでござこそスケジュールを決定した。まず日程は次のようなハドスケジュールとなった。

4/27（金）午後7時出発（夜行運転）
4/28（土）朝 志賀高原到着
4/29（日）（滞在）
4/30（月）午後 志賀高原出発（夜行運転）
5/1（火）朝 岡山到着お仕事に出る

タカさんとトキさんの車を提供してもらい、3人ずつ分乗し交替で運転することとした。

1号車 タカさん、トキさん、ワタクシ
2号車 ヨコさん、イノさん

ん、ウエちゃん
さて、出発の時。各々思い思いの奇妙ないでたちで県庁職員駐車場に集合。

予定より少し遅れて19時15分スタート。トリップメーター10km、ガソリン満タン。各方面からの差し入れもトラックに満載して1号車タカさん、2号車イノさんの運転で最初の休憩地点である姫路の東洋モーターへ向けて国道2号線へ出る。

途中トランシーバーで連絡を取り合いながら東洋モーターへ21時35分到着。人間どもの腹を満タンにして、2号車はヨコさんに運転を替わり次の休憩地点である養老サビスエリアへ向けてレッツゴ

Ⅰ。加古川バイパス↓第2神明↓阪神高速↓名神高速と車は快調のペースで我々を運んでくれる。

28日（土）0時10分養老サビスエリアへ到着。トリップメーターは320km。1、2号車に給油、タイヤにエア

Ⅰ補充して、眠気覚ましに用意してきたコーヒーをイノさんが常日頃の慣れた手つきで入れてくれたのを飲みほし、代りに小便を放出して出発。車の重量は小便分だけ軽くなった。

名神高速から中央高速、19号線と移り、恵那ドライブインへ向けてエッサホイサ。恵那近くで会話も途切れがちで少々眠い。突然トランシーバーに妙な会話が入りだした。しばらく聞くことにした。

「こちらR301の何とかかんとか、どなたか応答願います」

「ハイハイ、こちらKの何とか」とか、感度は如何ですか」

「感度良好、今何をしてますか、ドウゾ」
「ハイ、こちらこれからカアちゃんと寝ようと思っております。ドウゾ」
「何だか会話がおかしくなってきた」
「サウンドはかなりクリアですが内容がクエスチョン、再度お願いします」
「ハイハイ、アッハッハ」
「??????」
「どうもおかしいと思つたら、2号車のイノさんがうまく相手に合わせてやつてつしやるのよ。少々気の毒になりトキさんが割り込んだ」
「エエ、こちら岡山県車内放送です。ドウゾ」
「えつ、一体何ですか。ドウゾ」
「何のこつちや、相手はますますチンプンカンプン。そこでワタクシが替わつた」

「我々は、岡山県から2台の車でトランシーバーを使って交信しながら志賀高原へ向けてドライブ中です。そこへあなたの無線が入ってきたわけです。どうもスンマセンでした。これからチャンネルを切り変えてやりますので許してちょうね。ドウゾ」
「なんだ、そうでしたか。アッハッハ。それじゃ気をつけて行ってきてください」
「どうもありがとうございませす。では恵那のドライブインへ着きますのでバハハイ」
お陰で眠気も覚めて休憩。人間どもにも名物きしめんを補給して、1号車ワタクシ、2号車ウエちゃんに運転を替わり、2時40分、心地良いエキゾーストノイズを残した。トリップは418km。塩尻辺りで夜が白みかけてきた。快晴である。目がコロコロする。

松本でドライブインマツモトへ寄り一斉に放尿。岡山の美味い水をわざわざ持つてきたのだという満足感を得る。1号車タカさん、2号車イノさんに運転を替わり、車も軽やかに出発。5時10分。トリップ549km。

長野を6時40分通過。途中給油して志賀高原の有料道路へと差し掛かる。

アリヤー、雪が全然無いので、途端に2号車から「2号車から1号車の関さんへ。ドウゾ」

「ハイハイ、ドウゾ」
「雪がネエじゃねえーか。わりやーこの落とし前をどうつけてくれるんじや。ドウゾ」
「どうもスンマセン。こんなはずじゃ無かったにボソボソ、ドウゾ」
「スンマセンじゃねえぞ。ドウゾ」
「上の方にも雪が無かったら直ちに折り返して岡山へ帰ります。ドウゾ」



白馬八方尾根スキー場（昭和53年3月）

志賀高原スキー漫遊記

(1頁の続き)



筆者近影
(岡山県新見市いぶきの里スキー場にて)

「えーっ」
かくして8時5分、これからお世話になる宿舎の志賀山荘へ到着。
「こんにちは、オッサン来たでー」
「やあやあ、ドウゾお上がりください」
ウエちゃんが「あーやっとなど着いたか」と大あくび。ついでに下も「ブーツ」と快音一発。「オッサン電話と話が違うでえ。一体これで滑れるんかい？」
「ハイハイ皆さん、熊の湯や渋峠のグレンデで滑ってますよ」「ほんまかいな」
とにかく荷物を降ろして渋峠に登ってみることにした。本当に積雪は大丈夫なのかと内心祈っていたが渋峠まで来ると、あるわ、あるわ、十分過ぎるくらい。おまけにリフトはガラガラ。ヒヤッホー。
「やいテメーら、まだ文句があんのかよー。ドウゾ」
「どうもスンマセン。ドウゾ」まだトランシーバーの口調が残ってやがる。
それゆけー。滑って滑って滑りまくればかりに気違いども6人はグレンデの粒と散らばった。
青空のもと、眺望を楽しみ

ながら皆ヤーヤッコーと疲れも見せずに水を得た魚のようにスイスイスラローム。ワタクシ一人がドッテンバツタン。それにしても雪の汚いこと。雪は白いものと思っていながらこの雪は黒い色をしていつかる。久しく雪が降らないし、すぐ近くを草津へ抜ける観光目的の車がほこりと排気ガスをまき散らして通るからだろうと思う。標高2,000mを超えるのにここまで公害は及んだか。古ぼけた雪でも言ったらびったりだ。グレンデはざっと100人位のスキーヤーでリフトは待たずに乗れる。コースは上から大きな3つの段になっており、規模は大山の上の原程度である。今頃中国地方の山々をいくら探しても、まずこれだけ広く雪の付いた所は見当たらない。まだ局所的には4mくらいの残雪がある。さすがに寒い。
渋峠ヒュッテで昼食を済ますとタカさんとヨコさんは車の中へ入ってダウン。ワタクシを含めあとの4人は育ちが悪いか滑らにや損とばかりに眠けマナコをこすりこすり節つきシュプールを描きまくった。
第1日目は前夜ドライブで体力を消耗させており、それに睡眠も充分取ってないので

早めに切り上げて宿舎へ帰る。帰ると早速夕食前の酒盛りが始まる。イノさんとヨコさんがめつぼう酒好きときているから覚悟はしていたものの、とうとうへべレケのオラは死んじまっただーになってバタンキュー。意識が回復したところで夕食。1泊2食で1,000円にしては大したご馳走だ。皆日頃よほどマズイものばかり食っているのかウメー、ウメーとガツガツ喜んで食っている。トキさんなどは嬉しくなって異常なサービスぶり。
「オッサン、風呂沸かすんなら薪を割ったるか」
「うちは灯油で沸かしてんだよ」「そんなら灯油割ったるか」
「???トローユー意味???」
タカさんは名うての酒嫌いである。夕食の奈良漬で酔っ払ってしまった。
イノさんの傍にいますとオナラ漬になる。どうも10分に1度は発射してないと食欲が湧かないらしい。以前大山に行く途中、勝山の食堂でやらかし、他のお客が全部外へ逃げ、窓を開けるやら換気扇をつけるやらで大ワラワラした時があった。
何はともあれ食後の酒盛り。「全く好きねえ、そんならチョッとだけよ」がまたバタンキュー。今度はイノさんもウエちゃんも枕を並べてご臨終。後で聞くとワタクシは眠りながらも風呂にだけは入ったそう。

さて、2日目の朝7時前、イノさんのオナラの音で目が覚める。眠りながらもよく出るものだと感心しながら起きると、タカさん、トキさん、ヨコさんはもうとつくに起きて散歩などしたらしい。スキーバスやマイカーがもう沢山登って行ったぞと言っていた。今日は渋峠は人が多いかも知れない。
この宿舎には我々のほかにもう一組のグループが来ていた。聞くと東京新宿区役所の連中だそうで、男2人、女2人の若い4人グループである。何故か一部屋しか取ってない。ワタクシはコドモなのでそれ以上は考えないことにした。
宿舎は管理人のオッサンと奥さん、それにスピッツ系雑種のチェリという大人しい可愛い犬がいる。オッサンとオバサンの2人だけでよくやるわと感心していたら4月になって我々と新宿区役所組が初めて客だそう。

チェリは色んな芸をよくやり、特にチンチンが上手でワンドフルと褒めてやりたい。トキさんはこの犬を一番可愛がって常に抱いて歩いていく。しかしトキさんがあの顔で犬を抱くなぞ思ってもみなかったことで、まるでゴリラが犬をいたぶっているように何とも奇妙な図である。犬も怖がらずによく我慢をしたものだ。
今日はおにぎりを作ってもらって、昨日目星をつけておいた白根山の方の斜面へ上ることになった。車でグングン登り昨日の渋峠グレンデを横目に通り過ぎ、その斜面の近くまで行って車を止め、後は歩いて登った。今日も快晴である。昨日より少し暖かい。日焼けで黒くなって婿に行けなくなったらどうしようかと思ふ。
斜面の上まで登って下を見ると急なため途中の斜面は見えず、下の平雪面が直接目に入る。ウエちゃんが「コイツアー面白れえ」とたまらず一

声。
タカさんがまず準指導員の面目を施して最初のシュプーを華麗に描いた。負けてはならじと次々に続く。案外滑り良いが、ワタクシは持ち前のO脚スタイル。どうしてうまくならねえのかなあ。いつそのま曲進系ならず関連進系として完成させようか。斜度は大山の豪田山の急斜面くらいはある。ここはリフトが無いので登りが大変。何しろ高いところなので、酸素が薄いせい呼吸が口だけでは足らず、口で吸っては尻で吐いて一生懸命登った。後に続く者は鎌で雪面の上を刈っているように見える。どうもクサカッターらしい。
昼までに写真を撮ったりしながら3〜4回滑ったらグロツキーになり、ヨコさんなんか尻で吐く音も弱々しい。そこで特製のおにぎりで昼メシにすることにした。
昼からは白根山を散策してみようと衆議一決。
まだ足は重かったが、全員その場へスキー板を置いて更に上へ登った。上に登ることは全員割と得意としている。何故なら昔からよく言うではないか「阿呆のタカアガリ」。しかしインフレの御時勢には何でも上がらにや時代遅れだ。ずっと登ると噴火口跡のようなどところに黄緑色の水を湛えた気味の悪い池があった。案内板によると「弓が池」とのこと。
散策を終えて今度はリフトのある熊の湯まで降りることになった。ちょうどその頃30分

ほど雪が降った。今頃雪の降る光景を見ようとは夢にも思わなかった。
熊の湯グレンデは所々三文ハゲのように地肌が覗いているが結構滑れる。グレンデはリフトを降りて最初に木や笹の中を抜けて急斜面の上に出る。中ごろまではコブだらけで狭いが残り半分のコースは何でもない。ウエちゃんがどうした訳かビビッてしまった。しかしここでは皆よく転ぶ。あんまり転ぶからグレンデばかりかこちらまでコブだらけだ。コブコブ同士で似合いである。イノさんは最近滑りが安定して見えて危なげがない。そんなこんなで心ゆくまで滑って宿舎へ帰ることにする。
夕食のあと、ワタクシの提案で草津温泉に行ってみることにした。まだこのメンバーの中では誰も行ったことがない。歌にも「一度はおいで」とあるではないか。車で30分くらい走ると草津温泉である。街の真ん中に「湯畑」というお湯の池があつて、そのあたりは湯気でもうもうとしている。無料で湯に入れるところはないかと尋ね、「白旗の湯」があると聞いて行ってみることにした。
イノさんが「ワシラはまるで黒い顔をして山から下りてきた山猿の集団みたいじゃ」などと例の大声で喋りながら歩いていると観光の女の子のグループがこちらを見て笑っている。イノさんが睨むと余計に笑われた。
「白旗の湯」は素木を組んだ小屋となっており中は薄暗く狭い。先客もあり、6人は少し窮屈そうなので「他へ移ろうか」と話していると、湯に浸かっていたオジサン皮肉に「草津に来てここに入らなくては話にならないで。原湯はここだけなんすよ」
湯に浸かったり土産を買ったりして宿舎に帰ったのが22時過ぎだった。
今回のスキープランは本当に豪華パッケージである。さて、明けて3日目は最後の日なので帰りの都合を考え、昨日と同じ熊の湯を荒らすことにした。今日も快晴である。皆、誠に黒々とよく焼けた。中には赤く焼けている者もいる。鬼が島へ黒鬼、赤鬼退治にやって来たような気分である。朝、東京新宿区役所

グループや管理人のオッサン、オバサンそれに犬のチェリも含めて全員で宿舎の前で記念撮影。シャッターが切れる瞬間、新宿グループの女の子がイノさんの頭の後ろで手を「パー」にしている。本当によくやるよ。
今日をもつてスキーは約6ヶ月のお休みとなるので、心置きなく滑らなければならぬ。滑っていると何処からかグレンデに犬が出てきて吠えながら追いかけてくるのには閉口した。俺たちや鬼が島の鬼じゃねえぞ。コノヤロメ。午前中滑り、昼過ぎに数々の楽しかった思い出を残し志賀を後にした。
さようなら。さようなら。帰りの車の中がまた賑やかなこと。
「オメー黒いのう」「いやオメーの方が黒い」「何言うとなじやオメーが黒い」「こちら1号車です。2号車ドウゾ」
「ハイこちら2号車です。ドウゾ」
「ブツ」。何の音か分かりませんが。…ワークセー!」etc。昭和48年5月1日(火)午前5時岡山着。全員元氣良し。

500歳野球に参加して



秋田支部 鵜木 寿有

去る9月21日、第45回全県500歳野球大会が開催され、我が「520ベースボールクラブ」も念願の1勝を合

言葉に出場いたしました。初出場した昨年は十人ぎり

ぎりのメンバーで挑み、1対18の大差で敗れましたが、今年は若手を中心に新たな6人が加わり、チーム構成上は他のチームに引けをとらない体制です。

また、大会前には高橋直彦氏（元秋田年金事務所長）所属の「神宮寺嶽（だけ）クラブ」とチーム初の練習試合を行い、敗れはしたものの接戦に持ち込み、今年はいけるといった手応えも感じていました。

今年の初戦は「旭川クラブ



「ブ」という出場回数32回の古豪です。

試合は初回、相手に2点を許すも、その裏に5点を返し、立ち上がりは試合を優位に進めます。3回にお互い3点ずつ加え8対5とリードを保ちますが、相手に4回に2点、5回に1点を与え、8対8の同点でゲームセット。大会規程により最終回のプレーヤー九人によるジャンケンで勝敗を決めることになりましたが、このジャンケンでまさかの5連敗。ジャンケンで完封負けを喫する結果となっていました。

りましたが、念願の1勝は来年に持ち越しです。

来年こそは皆様に勝利の報告ができますよう、選手一同精進して参る所存です。

これまで社会保険倶楽部秋田支部の皆様には、多大なるご支援・ご協力をいただき感謝に堪えません。今後ともご声援のほどよろしくお願いたします。

	1	2	3	4	5	計
旭川クラブ	2	0	3	2	1	8
わクラブ	5	0	3	0	0	8

も光栄に思っています。

会場は、会員の皆さんがでさるだけ参加しやすいよう、アクセスの良いバイロンネルソノカントリークラブを選びました。このゴルフ場は27ホールあり、料金も比較のお手ごろで、平日なら食事付きで4,000円、6,000円台でプレーできます。ただ、いつも混み合っている人気コースのため、予約は1年前から早めに行っています。

《ゴルフを楽しみ、続けていくために》

私事ではありますが、ゴルフを楽しむ、そして長く続けていくためには、やはり体力と満足できるスコアが欠かせないと思っています。

その体力づくりの一環として、地区のシルバー人材センタ―に会員登録し、春から秋にかけて主に空き地などの草刈り作業を行っています。この2、3年は例年になく暑い夏が続いており、作業もなかなか大変ですが、良い運動になっています。

また、スコアアップのために朝夕に時々素振りを続けています。素振りをしてると若い頃の感覚が少しずつ戻ってきており、最近では当時のスコアに近づきつつあります。これからも素振りを続け、さらにスコアアップを目指していききたいと思っています。

ちなみに、プレーは月1、2回程度で、スコアはレギュラーティーから100前後、シルバーティーから90台前半といったところです。体力が続く限り、無理なく頑張っていきたいと思っています。



歴代の幹事さんの中には10年以上上務められた方もいらっしゃり、私の前任者も約10年続けられたそうです。本当に頭が下がる思いです。

私はまだ幹事になって3年目ですが、先輩方を見習い、これからも頑張っていきたいと思っています。

今後の課題としては、このゴルフクラブをより長く続けていくために、新しい会員の参加を増やすことが重要だと感じています。これからも会員拡大に努め、110回、120回と大会が続いていくよう力を尽くしてまいります。

このゴルフ倶楽部がこれからも末永く続くよう、幹事として運営にしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

第100回記念 ゴルフ大会に思う

福島支部 ゴルフ幹事

篠原孝男



令和7年9月29日（月）、当回記念大会を開催しました。3年になりますが、この節目の大会に携われたことをとて

優勝…大森さん（前回・第99回大会に続き連覇）

準優勝…篠原さん（筆者）

第3位…長尾さん

ベストロ賞…平田さん

これまでの記録を振り返ると、第20回は近藤進さん、第25回は土屋功さん、第50回は鹿山正悟さん、第75回は長尾茂さんが優勝されています。

懐かしいお名前も並びますが、第75回優勝の長尾さんは今回も第3位に入賞され、今も変わらず元気にゴルフを楽しんでいます。

100回という大きな節目を迎えられたのは、支部の皆さんのご協力とご参加のおかげです。これからも楽しく、健康的にプレーできるゴルフ会を続けていければと思います。

《ゴルフを楽しみ、続けていくために》

私事ではありますが、ゴルフを楽しむ、そして長く続けていくためには、やはり体力と満足できるスコアが欠かせないと思っています。

その体力づくりの一環として、地区のシルバー人材センタ―に会員登録し、春から秋にかけて主に空き地などの草刈り作業を行っています。この2、3年は例年になく暑い夏が続いており、作業もなかなか大変ですが、良い運動になっています。

また、スコアアップのために朝夕に時々素振りを続けています。素振りをしてると若い頃の感覚が少しずつ戻ってきており、最近では当時のスコアに近づきつつあります。これからも素振りを続け、さらにスコアアップを目指していききたいと思っています。

ちなみに、プレーは月1、2回程度で、スコアはレギュラーティーから100前後、シルバーティーから90台前半といったところです。体力が続く限り、無理なく頑張っていきたいと思っています。

《ゴルフを楽しみ、続けていくために》

私事ではありますが、ゴルフを楽しむ、そして長く続けていくためには、やはり体力と満足できるスコアが欠かせないと思っています。

その体力づくりの一環として、地区のシルバー人材センタ―に会員登録し、春から秋にかけて主に空き地などの草刈り作業を行っています。この2、3年は例年になく暑い夏が続いており、作業もなかなか大変ですが、良い運動になっています。

日本年金機構から
〜日本年金機構の取組状況について〜

令和6年度業務実績結果

日本年金機構法第36条第1項の規定に基づき、厚生労働大臣は事業年度ごとの機構の業務実績について、評価を行うこととされています。評価は、各評価項目について、S（計画を大幅に上回っている）、D（計画を下回っており、大幅に改善が必要）の5段階で評価が行われています。

令和6年度の業務実績は、6年度連続ですべての評価項目が「B」以上となりました。評価結果の主なポイントは次のとおりです。

【国民年金適用促進対策】

令和6年度分保険料の現年（4頁に続く）

<p>入賞者は次のとおり（敬称略）</p> <p>優勝 渡邊 健一</p> <p>第2位 藤原 博樹</p> <p>第3位 加藤 裕一</p> <p>B G賞 藤原 博樹</p> <p>〈茨城支部〉</p> <p>（総会）</p> <p>茨城支部の皆様お元気ですか。皆様には健やかに新年をお迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。</p> <p>さて、茨城支部では令和7年5月29日（木）に「ホテルレイクビュー水戸」において、17名の出席のもと令和7年度支部総会を開催しました。</p> <p>総会は、令和6年度事業報告及び収入支出決算報告、続</p>		<p>野谷政彦様に祝詞、記念品の贈呈が行われました。</p> <p>なお、ご都合により総会へ出席いただけなかった鬼澤正弘様、高田宏様、飯塚孝様には、後日、郵送にて記念品等を贈らせていただきました。</p> <p>総会終了後、同会場にて懇親会が開かれ、和やかな雰囲気</p>	
<p>（健康会ゴルフコンペ）</p> <p>令和7年10月23日（木）、水戸レイクスカントリークラブで「健康会ゴルフコンペ」が開催されました。当日は爽やかな秋晴れ、1組目オナーの鈴木氏のティーショットは、まっすぐに天高く青空に吸い込まれてゆきました。</p> <p>今回の参加者は8名でしたが、皆さん、和気あいあいとプレイを楽しみ、親睦を深められていました。また、開催地のゴルフ場は、掛け流し天然温泉の施設が自慢であり、プレイ終了後も美肌効果のあるナトリウム泉、露天風呂「偕楽の湯」を楽しんでおられました。</p> <p>なお、大会結果上位は次の方々です。</p> <p>優勝 松田 正紀（ゴルフ78）</p> <p>準優勝 鮑本 武</p> <p>第3位 大橋 明夫</p> <p>〈群馬支部〉</p> <p>（ゴルフコンペ）</p> <p>令和7年9月26日、伊香保温泉近くの伊香保国際カントリー倶楽部において秋季のゴルフコンペを開催いたしました。令和5年度に</p>		<p>「古希祝」に該当する会員が紹介されるとともに、齋藤支部長から記念品が贈呈され、会員皆から祝福の大きな拍手が贈られました。</p> <p>懇親会は、狩野副支部長の乾杯の発声により始まり、近況などを語り合いながら酒を酌み交わし大いに盛り上がりました。会員相互そしてOBと現職との親睦を深める有意義な交歓会となりました。</p> <p>散会を惜しむ中、再会を約束し、羽鳥副支部長の三本締めでお開きとなりました。</p> <p>（埼玉支部）</p> <p>（総会）</p> <p>令和7年度総会が6月3日（火）にさいたま新都心の「メルカドデルブルエルト」において31名の出席のもと、開催されました。</p> <p>総会は、杉山支部長の開会の挨拶で始まり、次に、来賓として出席されました県内年金事務所長を代表して日本年金機構浦和地域代表年金事務所の道場所長よりご挨拶をいただきました。道場所長の挨拶では日本年金機構の取り組みや年金行政を取り巻く情勢に</p>	
<p>（埼玉支部）</p> <p>（総会）</p> <p>令和7年度総会が6月3日（火）にさいたま新都心の「メルカドデルブルエルト」において31名の出席のもと、開催されました。</p> <p>総会は、杉山支部長の開会の挨拶で始まり、次に、来賓として出席されました県内年金事務所長を代表して日本年金機構浦和地域代表年金事務所の道場所長よりご挨拶をいただきました。道場所長の挨拶では日本年金機構の取り組みや年金行政を取り巻く情勢に</p>		<p>ついて、また埼玉出身者の他県での状況についてお話しがあり、日頃なかなか知ることができないことについて聞くことができました。</p> <p>議案審議では、令和6年度事業報告及び収入支出決算報告並びに監査報告。続いて令和7年度事業計画案及び予算案が提案され、審議の結果すべて原案どおりに承認されました。</p> <p>引き続き古稀祝者伝達式では、今年度めでたく古稀を迎えられた、桑島修様に祝詞、記念品の贈呈が行われました。なお当日欠席されました秋山明様、松崎照様には後日贈らせていただきました。</p> <p>また、今年は役員の任期満了に伴い、これまで9年間支部長を務められてこられた杉山支部長に代わり野島支部長が新たに選出されました。</p> <p>総会終了後、同会場にて懇親会が開かれ、出席された年金事務所長との意見交換などややかな雰囲気</p>	
<p>（2025年度ゴルフ大会）</p> <p>埼玉支部のゴルフ大会を、2025年10月1日（水）、熊谷市大麻生ゴルフ場において開催しました。</p> <p>今年の参加者も体調不良などで7名と小人数になってしまいましたが、</p> <p>当日は、天気予報的中し朝から雨が降るあいにくのコンディションではありませんでした。安齋副支部長から、競技前にけがのないように優勝目指して頑張ってくださいと挨拶があり、プレーに入りました。</p> <p>しかし、その後天候が悪化</p>		<p>してしまったためハーフター</p> <p>ンをした後の10番ホールをプレーしたところで中止となっ</p> <p>てしまいました。</p> <p>大会終了後に、成績発表を兼ねた表彰式と若干の懇談会をおこない、また次回会おうと約束し終了いたしました。</p> <p>入賞者はつぎのとおり</p> <p>優勝 松崎 栄</p> <p>準優勝 富永 豊</p> <p>第3位 黒澤 健一</p> <p>（敬称略）</p> <p>〈千葉支部〉</p> <p>（上期ゴルフ大会）</p> <p>令和7年度の親睦行事として、上期のゴルフ大会が予定どおり開催されました。</p> <p>大会当日は好天に恵まれましたが、千葉県では連日猛暑が続いており、熱中症アラートが出るなど、過酷な状況下でのプレイとなりました。</p> <p>スタート前には、宮田支部長より、水分塩分補給など熱中症対策に気をつけることなど、異例の注意喚起がなされましたが、全員何事もなくホールアウトできました。</p> <p>結果等については次のとおりです。</p> <p>開催日 令和7年6月17日</p> <p>（火）</p> <p>於 本 ムーンレイクゴルフクラブ</p>	
<p>（千葉支部）</p> <p>（上期ゴルフ大会）</p> <p>令和7年度の親睦行事として、上期のゴルフ大会が予定どおり開催されました。</p> <p>大会当日は好天に恵まれましたが、千葉県では連日猛暑が続いており、熱中症アラートが出るなど、過酷な状況下でのプレイとなりました。</p> <p>スタート前には、宮田支部長より、水分塩分補給など熱中症対策に気をつけることなど、異例の注意喚起がなされましたが、全員何事もなくホールアウトできました。</p> <p>結果等については次のとおりです。</p> <p>開催日 令和7年6月17日</p> <p>（火）</p> <p>於 本 ムーンレイクゴルフクラブ</p>		<p>フクラブ茂原コース</p> <p>優勝 佐々木 満</p> <p>準優勝 原田 享</p> <p>第3位 川野 雅彦</p> <p>（下期ゴルフ大会）</p> <p>令和7年度の親睦行事として、下期のゴルフ大会が予定どおり開催されました。</p> <p>大会当日は薄曇りではありましたが、気温は暑すぎずスポーツをするには最適な状況下でのプレイとなりました。</p> <p>結果等については次のとおりです。</p> <p>開催日 令和7年10月29日</p> <p>（水）</p> <p>於 本 ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース</p> <p>優勝 石井 康夫</p> <p>準優勝 佐々木 伸二</p> <p>第3位 柳澤 源</p> <p>（千葉支部女性同好会）</p> <p>令和7年度の親睦行事として、令和7年10月17日（金）の正午より、千葉支部女性同好会が開催されました。</p> <p>当日は、千葉市内のレストランでの開催となりましたが、遠方にお住まいの方や、諸事情により、普段なかなかお会いすることのかわない</p>	
<p>（東京支部）</p> <p>（ゴルフコンペ）</p> <p>当支部では、会員相互の親睦を図るため、毎年ゴルフコンペを開催しています。</p> <p>本年度のコンペは11月7日に埼玉県ときがわ西平の「さいたま梨花カントリークラブ」において開催し、会員28名が参加しました。</p> <p>絶好の秋晴れの中、浅野支部長の開会挨拶の後、計8組がOUT・INの2コースに分かれスタートしました。</p> <p>随所に池、クリークなどを配した戦略的なコースでしたが、紅葉に囲まれ、笑い声の響</p> <p>（6頁に続く）</p>		<p>方々11名が一同に会し、近況報告や情報交換などで、旧交を温められました。</p> <p>秋晴れの中、賑やかで楽しいランチ会になった模様です。</p> <p>（古稀祝賀会）</p> <p>令和7年11月11日（火）、千葉支部会員で古稀を迎えられた方々をお招きして、幸田世話人代表からの祝辞と記念品の伝達、並びに午餐会を開催いたしました。</p> <p>この度の古稀祝賀については、昭和29年生まれの方々4名にご参加いただきました。</p> <p>当日は、普段なかなかお会いできない方々が、それぞれの近況報告など、おしゃべりに花が咲き、楽しい午餐会となりました。</p> <p>写真は、手前左より、岩崎幸子様、藤平真由美様、宮田英一支部長、右手前より、関敏子様、山本秋夫様です。</p> <p>〈東京支部〉</p> <p>（ゴルフコンペ）</p> <p>当支部では、会員相互の親睦を図るため、毎年ゴルフコンペを開催しています。</p> <p>本年度のコンペは11月7日に埼玉県ときがわ西平の「さいたま梨花カントリークラブ」において開催し、会員28名が参加しました。</p> <p>絶好の秋晴れの中、浅野支部長の開会挨拶の後、計8組がOUT・INの2コースに分かれスタートしました。</p> <p>随所に池、クリークなどを配した戦略的なコースでしたが、紅葉に囲まれ、笑い声の響</p> <p>（6頁に続く）</p>	

支部だより

(5頁の続き)

き渡る楽しいラウンドとなりました。

プレー終了後は、パーティ会場で成績発表と表彰式を行い、参加者の親睦を深め盛会のうちに終了いたしました。

なお、上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 菅 重博
- 準優勝 長澤 猛
- 第3位 大内 一直
- ベストグロス 大内 一直

霞が関支部

(総会)

令和7年7月24日(木)新宿区四谷「東貨健保会館」で開催されました。

14時、羽毛田支部長からご挨拶をいただき、第1号議案「令和6年度事業報告及び収支決算(案)」の説明、助川監事からの監査報告、また、第2号議案「令和7年度事業計画及び収支予算(案)」の説明に対して、それぞれ承認されました。

次に、第3号議案「任期満了による支部役員の改選について」の説明に対して、8名の若手の幹事を含む新幹事・監事が承認され、羽毛田支部長、百軒・伊藤・三枝・木谷副支部長が承認されました。

また、平成9年から副支部長に就任以来、27年間の長きにわたり社会保険倶楽部霞が関支部の運営に多大な尽力をいただいた寺嶋様から「社会保険倶楽部は永遠に不滅です」との退任のご挨拶をいただき、14時30分に終了しました。

総会終了後、セミナーを開催し、日本医療研究開発機構理事の屋敷次郎様から「医療、臨床、研究」のテーマで講演をいただきました。

セミナー終了後、茶話会を開催し、百軒副支部長のご挨拶と乾杯で茶話会が開催されました。多くの方が近況報告と昔話に楽しく懇談され、あつという間の1時間が経ち、若手の七五三さんの三本締めで終了となりました。

(ゴルフ大会)

10月23日(木)、紫カントリークラブ・あやめコースにおいて開催しました。

当日は、前日までの雨から一転絶好のゴルフ日和となり、参加者は、下は45歳、上は88歳のまでの7組28名が、プレーの合間に近況を話し合ったりしながら和やかな大会となりました。

終了後の表彰式

は、短時間ではありましたが、プレー場面(Y氏いわく、最終ホールはバンカーで4つも打たなかったらベスグロだったの

に・・(〽)を振り返りながら、大いに盛り上がり無事終了しました。

入賞者は次のとおりです。

- 優勝 高野 裕治さん
- 準優勝 安藤 武史さん
- 第3位 五十嵐 健さん
- ベストグロ 菊池 亮さん

(麻雀大会)

11月8日(土) 11時から、港区新橋の「新雀荘」において、下は57歳から上は95歳の20名の参加のもと麻雀大会を開催しました。

競技は3回戦制で、1回戦、2回戦は抽選での組合せ、3回戦は順位戦で行われました。

年配の方と若手の組合せも多く、若手組は緊張しながらも、和やかにゲームを楽しんでいました。

上位入賞者は次の方々です。

- 優勝 梶原 泰之さん
- 準優勝 友田 輝明さん
- 第3位 三枝 寛さん

神奈川支部

(麻雀大会)

当支部では、会員相互の親睦を図るため、毎年度9月と3月に麻雀大会を開催しています。

令和7年9月4日(木)に12名の参加により、第83回大会が横浜駅の「麻雀いづみ」で開催されました。

熱戦の結果、入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 那須 隆
- 準優勝 小林 修
- 第3位 梅田 忠明

(ウォーキング)

第5回ウォーキングを令和7年10月9日(木)に80歳代6名を含む12名の参加により、「よこはま動物園ズーラシア」で開催されました。

当日は台風の影響も危惧されましたが、雨に降られることも無く、少し肌寒い天候でしたが動物を見ながら散策を楽しみました。

退園後、隣接する里山ガーデンフェスタの「花で彩る大花壇」を愛でて解散しました。

新潟支部

(総会)

令和7年度新潟支部総会が6月19日(木)「万代シルバードホテル」において、18名の出席のもと開催されました。

総会に先立ち、前回総会以降にお亡くなりになった会員の方々に対し、ご冥福をお祈り、黙祷を行いました。

総会では、小川支部長の挨拶で始まり、議案審議では令和6年度事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画及び予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。

その後に任期満了に伴う役員の改選については全員が再任されました。

また、本日欠席された本年古希祝賀該当者8名のご紹介を行い、総会は無事終了いたしました。

総会終了後は、記念撮影のあと、坂詰新潟西年金事務所長の挨拶に続き、阿部社会保険診療報酬支払基金新潟審査委員会事務局長の乾杯の音頭で懇親会となりました。

会場には、欠席された会員からいただいた近況報告が貼り出され、出席された皆様は一人お一人の近況を興味深くご覧になられていました。

懇親会では、出席者一同久しぶりの再会で、お互いの近況や昔話など歓談し、終始楽しく和やかな雰囲気の中、親睦が図られました。

最後に、高橋全国健康保険協会新潟支部長の締めで、また次回の再会を楽しみにしながら盛会裏にお開きとなりました。

福井支部

(総会)

令和7年度の支部総会ならびに懇親会が6月20日(金)「WELL AOSA」において、26名の方に出席していただき開催を行いました。

はじめに出蔵英雄支部長が開会の挨拶を行い、続いて日本年金機構福井年金事務所廣野和成所長、全国健康保険協会福井支部前田英之支部長よりそれぞれ現況報告を交えたご挨拶をいただきました。

総会では、令和6年度事業及び収支決算報告、会計監査報告、令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について決議し、いずれも原案どおり承認されました。

また、役員改選では、これまで3期にわたり支部長を務めていただきました出蔵さん

から南田峰男さんにバトンタッチされました。出蔵さんお疲れ様でございました。

総会終了後、6月16日に喜寿を迎えられた吉田敬一さんの乾杯のご発声により懇親会の開宴となりました。

約2時間の時間ではございましたが、和やかな雰囲気の中、笑顔と笑顔で親睦が深められたひと時でした。

最後に、当支部最高齢で総会皆勤賞の松山義男さん(94歳)の中締めで会は盛会裡にお開きとなりました。

静岡支部

(総会)

令和7年度の支部総会が、7月4日(金)、静岡市葵区の「グランディエール ブケットーカイ」において24名の会員の出席のもと開催されました。

開会に先立ち、昨年度中に逝去された3名の会員の霊に對し、黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。



福井支部 総会



静岡支部 総会



青山支部長の開会の挨拶の後、議案審議に入り、令和6年度事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画案及び収支予算案、役員補充選任についての審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

続いて、全国健康保険協会静岡支部長の安田剛氏を講師に迎え、「協会けんぽの現状及びマイナ保険証の利用状況等について」の研修を行いました。

研修終了後、記念写真の撮影を行い、懇親会に移りました。

瀧下副支部長(支払基金静岡審査委員会事務局局長)の開宴挨拶と乾杯の発声の後、始めに古稀を迎えられた当日出席の1名に対し、本部及び支部からの祝詞と記念品が青山支部長から贈呈されました。

その後も参加者各々が再会を喜び、お互いの近況や昔話などに花を咲かせました。

終始楽しく和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深め、楽しい一時はあっという間に過ぎていきました。

最後



京都支部 総会



霞が関支部 ゴルフ大会



神奈川支部 ウォーキング



新潟支部 総会

に始まり、終始和やかな雰囲気の中で大いに親睦が深められ会員同士の交流を深める場となりました。

〈大阪支部〉

〈ゴルフコンペ〉

当支部では、年に1度、ゴルフ同好会によりゴルフコンペを開催しています。

令和7年度は、10月28日に大阪府堺市の「天野山カントリークラブ」において30名にご参加いただき開催されました。

当日は絶好の秋晴れの中、久しぶりの再会に皆さん大いに盛り上がり、一打一打に悲喜こもこも楽しく充実した1日を過ごすことができました。

プレー終了後は、クラブハウス内レストランにて和気あいあいと表彰式を行い、次の参加を約束して散会となりました。

〈秋期将棋大会〉

令和7年10月26日に大阪市立大淀コミュニティセンターで、11名の参加により将棋大会を開催しました。

午前中はリーグ戦による予選、午後はトーナメント戦を実施し、1日たっぷり遊びました。



大阪支部 ゴルフコンペ

成績上位者は、次の方々です。

優勝 山本 敏充
2位 岸本 耕造
3位 蔭山 信行

〈兵庫支部〉

〈支部夏季総会〉

令和7年度夏季総会を、8月1日に「ホテル北野プラザ六甲荘」において、62名の会員の出席のもと、盛大に開催しました。

まず初めに、古稀の寿の伝達式が行われ、このたび古稀を迎えられた4名の方々の披露があり、長谷川支部長より伝達式に出席された3名に、

幸田正孝世話人代表の祝詞及び記念品が贈呈され、出席者からお祝いの拍手を受けられました。

引き続き、長谷川支部長の挨拶で始まり、副支部長である日本年金機構谷口三宮地域代表年金事務所長と全国健康保険協会多田兵庫支部長より、それぞれ現況報告を含めたご挨拶をいただきました。

議案審議では、令和6年度事業報告及び会計収支決算案並びに会計監査報告が行われ、続いて令和7年度事業計

画案及び会計収支予算案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認されました。

その後、副支部長である日本年金機構中田兵庫事務センター長の乾杯の発声をもって懇親会に移り、新たに日本年金機構の拠点長に就任された方々から、自己紹介を兼ねたご挨拶をいただきました。

和やかな雰囲気の中、高見相互の親睦を深め合い、高見副支部長の中締めでお互いの健康を祈りながら散会となりました。

〈和歌山支部〉

〈合同交歓会〉

令和7年6月18日、『和歌山ビッグ愛』において開催した当倶楽部の令和7年度総会終了後、恒例の当倶楽部と社保O B会の合同交歓会を『木曾路 和歌山店』で行いました。

現役職員も業務終了後に参加され、18名による宴席となりました。

当日は配席に悩んだ末、上座(奥)から順に【スーパールーパ内】で自由(！)

中岡支部長(兼O B会長)より開会の挨拶のあと、

兵庫支部 総会

松原和歌山西年金事務所長の乾杯のご発声により交歓会が始まりました。終始、笑顔と笑いの絶えない和やかな会になりました。



話が盛り上がる中、予定の時間となり岡崎O B会副会長の中締めで盛会裡にお開きとなりました。

〈第72回健歩会ハイキング〉

6月28日、当倶楽部(主催)と社保O B会(協賛)による健歩会ハイキングを「戦国武将の軌跡」と称して猛暑の中、九度山町へ参加者15名が出陣しました。

戦国末期に生きた、真田昌幸、幸村、大助(親と子と孫)三代の軌跡が体験できる「真田ミュージアム」を見学しました。

館内は「日本一の兵(つわもの)」と讃えられた幸村の戦いぶりを「大阪夏の陣屏風」や「大阪の陣合戦解説動画」を使って分かり易く解説されていました。

昼食を近くの『そば処 幸村庵』で済ませ、午後からは弘法大師御母公のお寺として知られる『慈尊院』にお参りした後、解散となりました。

〈広島支部〉

〈総会〉

令和7年度年次総会が6月25日(水)に「広島ガーデンパレス」において、23名の出席のもと、開催されました。総会に先立ち、前回総会以

降に亡くなられた当支部会員4名の方々に対し、ご冥福の念を込めて黙祷をささげました。

開会にあたり、小林支部長のあいさつの後、日本年金機構広島東年金事務所松原所長から日本年金機構の現状報告をしていただきました。

議事は、次第にそって、令和6年度の事業報告及び収入支出決算並びに決算残金処分と会計監査報告、令和7年度事業計画及び収入支出予算案について、それぞれ審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。

また、この度古希を迎えられた2名の方の紹介があり、当日出席された1名の方に祝詞と記念品が授与されました。

引き続き、懇親会に移り、新たに世話人になられた坂川様の乾杯音頭に始まり、出席者の皆様は、久しぶりの再会で和やかに歓談し、親睦を更に深めました。

楽しい歓談は、あつという間に予定の時間となり、神戸義嗣様の閉会のことばで盛会裡にお開きとなりました。



広島支部 総会

〈山口支部〉

〈総会〉

令和7年度山口支部総会が、11月7日(金)「KKR山口あさくら」において19名の出席を得て開催されました。冒頭、古稀祝賀該当者の伝達式を行い、総会へと進みました。

総会は、岩垣支部長の挨拶で始まり、中国四国厚生局山口事務所の矢澤所長よりご挨拶をいただきました。

続いて、議案の審議に入り、令和6年度事業・決算報告及び令和7年度事業計画・予算案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決承認され、総会は無事終了いたしました。

総会終了後は、記念撮影の後、日本年金機構山口年金事務所の中村所長より乾杯の音頭で懇親会に移り、ビンゴゲーム等やかな雰囲気の中、会員相互の親睦を深め、盛会裡のうちに三戸副支部長の閉会のことばで、お互いの健康を祈りながら終了いたしました。

また、総会に先立ち、宇部



山口支部 総会

72カントリークラブにおいて会員親睦ゴルフ大会を開催し、12名の会員が参加し親交を深めました。

入賞者は次のとおり
優勝 山口 廉三
準優勝 内田 洋治
第3位 岩垣 勇

〈長崎支部〉

〈総会〉

令和7年8月8日(金)セントヒル長崎にて長崎支部総会を開催しました。今年には体調不良者が続出し出席者が15名と寂しい総会となりました。

観光の人気スポットの一つとなつていきます。映画やテレビでもたびたび取り上げられ、2025年にはこの島を舞台とした『海に眠るダイヤモンド』がテレビで放送されました。このドラマは東京ドラマアウード2025で連続ドラマ部門グランプリを受賞しています。

なお、当支部の新支部長は小さい頃この「軍艦島」に住まわれており、現在は「軍艦島観光ガイド」として活躍されています。

総会に先立ち開催された囲碁大会では、93歳の伊豫屋氏がA Iロボ・ミスターXを撃破して見事優勝されました。

〈軍艦島クルーズに参加〉

令和7年11月15日(土)長



長崎支部 総会

艦島クルーズ」に参加しました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、軍艦島は正式名称を端島(はしま)といい、かつて石炭を掘削していた島でした。現在は閉山になつており、島の形が戦時中の戦艦に似ていることから「軍艦島」と呼ばれています。

島内には、当時では最先端(日本初)の鉄筋コンクリート造りの高層集合住宅が建造されましたが、現在は廃墟となつています。平成27年には世界文化遺産にも指定され、長崎観光の人気スポットの一つとなつていきます。映画やテレビでもたびたび取り上げられ、2025年にはこの島を舞台とした『海に眠るダイヤモンド』がテレビで放送されました。このドラマは東京ドラマアウード2025で連続ドラマ部門グランプリを受賞しています。

なお、当支部の新支部長は小さい頃この「軍艦島」に住まわれており、現在は「軍艦島観光ガイド」として活躍されています。

〈宮崎支部〉

〈総会〉

総会につきましては、令和7年10月18日(土)にニューウェルシティ宮崎において、28名出席により開催されました。

当日は甲斐支部長の挨拶ではじまり、宮崎年金事務所長の濱田様及び協会けんぽ宮崎支部保健グループ長の金丸様から近況報告を含めご挨拶をいただきました

(8頁に続く)

